

鉄砲洲神社 論語素読 解説

(平成22年11月19日)

雍也第六

17 子曰く、人の生くるや直なればなり。之を罔いて生くるは、幸にして免るるなり。

孔子が言うには、人は正直で生きるのが良い。不正直に生きるのは良くない。もし不正直者がちゃんと生きていられるのであれば、それはまぐれ当たりだと考えれば良い。

現代に当てはめれば、民主党内閣はまぐれ当たりが続いて何とかもっています。もうそろそろ、まぐれ当たりは続かなくなるだろうと読みます。

18 子曰く、之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。

孔子が言うには、ただ知識があるというだけの者は、それを好きだという人には及ばない。好きだという者は、心の底からそれを楽しむ者には及ばない。

誰かが誰かを口説く時には、あなたが好きだと言うのと、心の底から一体感を持って一緒になりたいと言うのでは、迫力が変わってきます。

19 子曰く、中人以上には、以て上を語ぐべし。中人以下には、以て上を語ぐべからざるなり。

孔子が言うには、平均以上の人・レベル以上の人間には、高度な内容の話をしてよいが、レベル以下の人間には、高度な内容の話はしない方がよい。

菅政権は、国民が皆レベル以下だと考えているように感じます。

20 樊遲 知を問う。子曰く、民の義を務め、鬼神を敬して之を遠ざく。知と謂うべしと。仁を問う。曰く、仁者は難きことを先にして、獲ることを後にす。仁と謂うべしと。

樊遲は孔子より 36 歳も年が下ですから、少し理解力に欠ける人物です。

その樊遲が、「知」とは何でしょうかと孔子に質問しました。

孔子が答えるのに、理解力が不足するから具体論で教えています。

「国民には国に対する義務（税金を払うとか、使役をさせる等）を自覚させなさい。先祖に対するお祭りは、敬意を払うだけで深入りしてはいけない。これが知というものだよ」

樊遲が続けて、「仁」とは何でしょうかと質問しました。

孔子が「難しい仕事を先にやりなさい。そしてそれが出来た後で、報酬を要求しなさい。くれぐれも先に報酬をよこせと言ってはいけない。これが仁というものだよ」と言いました。